

商店街活性化事業計画の概要

地 域

福島県会津若松市

認定日

平成26年10月31日

事業名:市役所通り商店街「ファサード改修等による通りや路地空間の魅力創出整備事業」

事業者名:会津若松市役所通り商店街振興組合

事業実施期間 平成26年12月～平成29年11月

■商店街活性化事業の概要

住民ニーズを踏まえ、商店街のシンボルである市役所本庁舎のイメージを踏まえた一体感あるファサードの改修、来街者が利用する駐車場の整備、通りや路地裏空間の整備、空き店舗を活用したテナントミックス、賑わい創出のイベントを実施することで、街の回遊性・滞留性・利便性の向上を図る。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

市民アンケート及び来街者に対するアンケート調査の結果、商店街へのニーズとして、「気軽に立ち寄れる飲食店」、「路地裏の魅力」、「駐車場」、「通りの一体感や連続性を創出するような店舗外観」、「緑や憩いの空間の整備」、「季節ごとのイベント」などの要望が多かった。

◆実施計画の主な内容

①ファサード改修魅力向上事業

通りの一体性や連続性の創出に資する既存店舗の外観改修を進める。改修には憩いの空間を設けることを基本コンセプトにする。

②駐車場整備・改修事業

駐車場内の路面補修ならびに融雪機器の導入、当エリアの地域資源である興徳寺参道に面した傾斜フェンスの撤去と広葉樹の植栽、街路灯等を整備する。

③通りや路地裏空間整備魅力向上事業

商店街を城下町らしい空間や魅力的な路地裏として整備を進めるほか、通りの一角を公共的な憩いのポケットパーク等に整備を進めることと合わせて、来街者の回遊や滞留の促進を図る。

④空き店舗活用テナントミックス事業

空き店舗を活用した商店街に不足する業種業態の誘致。

⑤賑わい創出イベント事業

おさすり地蔵市・ナイトバル、まちなか映画祭・ナイトバル、路地裏雪見バル・スノーバトル

■商店街活性化事業計画の目標(定量的目標)

①事業最終年度までに歩行者通行量の目標値を毎年度+3%の増加を目指す。

(平成26年 1,455人→平成29年 1,600人)

②市役所通り商店街の空き店舗率6%を目指す。

(平成26年度 6件(13%)→平成29年度 3件(6%))

【会津若松市役所】

【イベント時の様子】

【路地裏の様子】

